

令和6年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 51

千葉県立松戸六実高等学校

全日制の課程

領域	重点目標	具体的方策 (具体的取組・手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	1 保護者、近隣小・中学校、地域、自治体、その他の関係機関と連携し、相互交流を強化することにより、学校外での学びや活動の場を広げる。 2 学校の日常を積極的に発信し、広く教育活動を紹介することで、保護者及び関係各所の信頼を得る。 3 働き方改革をふまえ、チームとして動く組織体制を整えることにより、業務改善を推進する。	①地域催事への部活動、委員会単位での積極的参加。個人ボランティアの積極的参加。社会福祉協議会と連携した介護支援施設等との交流。中学校部活動との交流。 ②学校行事、部活動等について、全教職員によるWEBページでの積極的な情報発信。 ③分掌内、分掌間での情報共有、議論の深化を進め、ICT機器を活用して業務の効率化をはかる。	①催事への参加状況、交流の状況。学校外での学びや活動の場を広げることができたか。 ②WEBページ更新の状況。平均して週5回程度の更新ができたか。 ③職員の在校等時間の状況。職員アンケートの結果。常に勤務時間を意識した働き方ができたか。
学習指導	1 基礎基本の徹底的習得。主体的に考え、判断し行動できる力を育むことにより、学びに向かう力を醸成する。 2 ICT機器を活用し、個に応じた学習指導を推進する。	①生徒が意見を共有し、議論する場面を、授業ごとに設定する。 ②授業におけるICT機器活用研究授業、活用事例研修を実施する。 ③到達度テスト等により生徒の学力を客観的に把握し、成果と課題を共有する。 ④生徒による授業評価アンケートを実施する。	①生徒が意見を共有し、議論する場面が設定できたか。 ②研究授業、事例研修に参加することができたか。 ③生徒の学力の客観的な把握、成果と課題の共有により、授業改善ができたか。 ④授業評価アンケートの結果。授業に対する満足度が80%以上か。
生徒指導	1 学校生活の様々な場面で、すべての生徒が主体的に活動できる場面を用意し、自己有用感を得られる経験をさせる。 2 生徒が主体的に考え、判断し行動できる力を育み、生徒の主体的な変容をはかる。 3 生徒理解に努め、校内において情報や行動を丁寧で共有することで、いじめ等の防止、早期把握による解決をはかる	①体育祭、文化祭、校外学習など、生徒が中心となって学校行事の企画、運営を行う。 ②「校則」の見直しに生徒を積極的に参加させ、主体的に考える機会とする。 ③生徒面談(三者面談を含む)を年2回実施する。全職員による情報交換会を、年間5回実施する。 ④学校生活アンケート(いじめアンケート)を年3回実施し、早期把握、解決をはかる。	①生徒アンケートの結果。学校行事に対する満足度が75%以上か。 ②生徒が主体的に考え、理念を理解し、変容することができたか。 ③面談、情報交換会の状況。校内において情報や行動を丁寧に共有することができたか。 ④学校生活アンケートの状況。早期把握、解決を組織的に行うことができたか。
キャリア教育	1 進路実現のため、積極的に情報を収集し、学習に取り組むなど、生徒の主体的な活動を支援する。 2 生徒の学力、進路希望に対応した個別の学びを提供し、進路実現を支援する。	①分野別、職業別ガイダンスなど、個に応じた実践的な進路指導の実施。第1学年からの体系的、計画的実施。 ②看護体験、保育園、小中学校でインターンシップを実施。 ③学習ソフトの活用による、個に応じた学習機会の提供。	①ガイダンス等の実施状況。体系的、計画的な実施ができたか。 ②インターンシップの参加状況。全校で60名以上の参加があったか。 ③学習ソフトの利用状況。主体的に学習することができたか。
特色ある教育活動	持続可能で充実した部活動による、生徒の成長支援。	①部活動運営方針に則った、充実した安全な部活動の実施。 ②生徒自らが考え、判断しながら活動を行い、生徒主体の場面を設ける。	①生徒アンケートの結果。充実した安全な部活動が実施できたか。 ②生徒自らが考え、判断し、主体的に活動することができたか。